

# 令和3年度 作手中学校 教育目標

## 1 本校の教育目標

### 友愛・研修・気魄 ～ 共育で育てる活力ある生徒 ～

友愛 豊かな心と体を持ち、ともに助け合い鍛えあう活力ある生徒

研修 目標に向かって努力し、自ら学び自ら考える生徒

気魄 夢の実現を目指して努力を惜しまない生徒

## 2 経営方針

ア 学校と家庭・地域との連携（互いに信頼し合える関係の構築）

イ 教師の日々の研鑽（教師は生徒を取り巻く最大の環境である）

ウ 目的意識をもった行事の企画・運営（生徒の自己有用感の向上と在校時間の削減）

## 3 本年度の重点努力目標 ～ 新しい作中様式の創造 ～

### ア 保護者・地域とともにある学校づくり

- ・日頃から保護者や地域の方と意思の疎通を図り、互いに信頼し合える関係をつくる。
- ・生徒が地区に直接出向き、言葉を交わすような場を設定する。また、地区の方が学校に足を運んでくれるような場も作り出す。

### イ 異年齢交流による活動や道徳教育による豊かな心の育成

- ・縦割り班活動を充実させ、学校全体にチーム作中という気持ちをもたせる。
- ・道徳の実践を充実させ、心豊かで自己有用感の高い生徒を育成する。
- ・自分の思いを表現でき、だれもがそれを認めてくれる環境を整える。

### ウ 考える場と時間の確保

- ・生徒は時間に追われる毎日ではあるが、じっくり考えたり、自分で物事を決定したりする場を意図的に設ける。

### エ 体力と健康の向上

- ・部活動では、明確な目標を持ち、それに向かって努力できるようにする。
- ・心と体の健康を維持するために、生徒との日々の対話をしっかり行う。

### オ 教師力の向上

- ・教師は生徒を取り巻く最大の環境である。研修の場に積極的に参加し、自ら学び、指導技術の向上を目指す。また、生徒から信頼される教師であるよう心掛ける。
- ・ICTの活用を進め、つながりを通して深い学びを実践する。

### カ 教育活動の見直しと在校時間の削減

- ・今行っている教育活動の意味を考え、効果を検証し、改善をすすめる。時には、思い切ってやめることも考える。
- ・作手地区のこども園・小学校・高校との連携をすすめ、生徒にとってよりよい教育環境を目指す。
- ・働き方改革をすすめ、職員の心と体の健康増進をはかる。